国家試験願書作成説明会資料（診療放射線技師）

日時：令和５年１２月６日（水）１３：００～
場所：第５番講義室

１．説明会の流れ
　① 出願書類作成の説明
　② 「診療放射線技師」国家試験の出願書類作成

　　＊出願書類作成後、学生係担当者のチェックを受けたら、随時解散。

２．配付資料

・ 説明会資料
　説明会の流れ等について・・・１頁
　説明会着席表・・・２頁
　受験願書作成時の記載要領及び記入例・・・３～５頁
　受験写真用台紙作成時の記載要領及び記入例・・・６～１０頁
　国家試験日程について・・・１１頁
・「診療放射線技師」国家試験願書及び受験写真用台紙

受験票配付及び合格後の免許申請手続きについての説明会

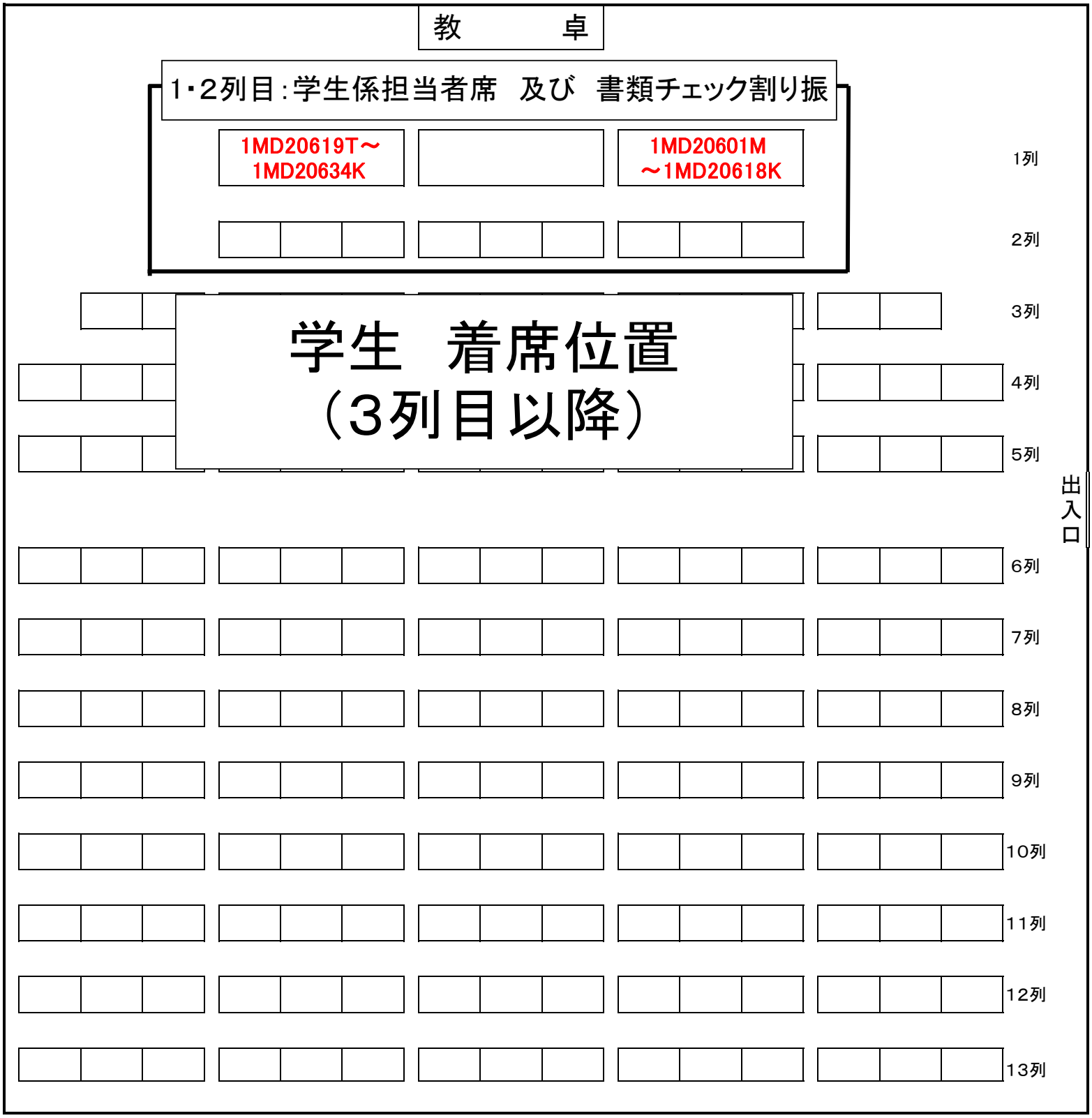
下記の日程で受験票の配付及び合格後の免許申請手続きの説明会を行います。

記

●日　時：令和６年２月５日（月）１３：００～　【予定】

●場　所：保健学科講義棟３階　第６番講義室

国家試験出願説明会着席表（第5番講義室）



受験願書作成時の記載要領

受験願書の作成にあたっては、本記載要領を熟読の上、受験願書記載例を参照し、黒又は青のボールペン等を使用し作成すること。また、以下の点に留意し、誤りのないよう楷書で丁寧に記入し、記入を誤った場合には、受験者本人が訂正箇所に二重線を引き訂正すること。この場合の訂正印は不要である。

① 受験手数料として11,400円の収入印紙を貼付し、消印をしないこと。
（都道府県等が発行する収入証紙と間違えないように注意すること。）

記載済み ~~② 希望する受験地を都道府県名で記入すること。**受験地は、北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県**のいずれかから選択すること。~~

※診療放射線技師及び診療エツクス線技師法施行規則の一部を改正する省令（昭和59年厚生省令第52号）附則第3条第1項の規定による診療放射線技師国家試験の試験科目の免除を受けようとする者にあっては、診療エツクス線技師試験（特例受験を含む。）に合格している旨を「受験地」の下に記載すること。

③ 本籍は戸籍に記載される都道府県名を記入すること。（市区町村まで記入する必要はないこと。）

なお、日本国籍を有しない者で、短期在留者については、旅券その他の身分を証する書類（当該国の公的機関が発行した申請者の身分を証明できる書類で、登録事項が記載されているもの。具体的には当該国における日本の戸籍、住民票、健康保険証、運転免許証等に相当する書類、その他の当該国の証明書等。以下同じ。）に記載されている国籍を、中長期在留者については在留カード又は住民票に記載されている国籍を、特別永住者については特別永住者証明書又は住民票に記載されている国籍を記入すること。ただし、「台湾」については出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第2条第5号ロに定める“地域”であることから、「中国」と記入すること。

④ 住所は番地、マンション等の場合は号室まで記入すること。

⑤ 氏名は戸籍に記載されている文字を用いることとなっているが、日本産業規格情報交換用漢字符号（JIS第一・第二水準）も使用することができること。

日本国籍を有しない者で、短期在留者については、旅券その他の身分を証する書類に記載されている氏名を、中長期在留者については、在留カード又は住民票に記載されている氏名を、特別永住者については特別永住者証明書又は住民票に記載されている氏名を記入すること。

このとき、当該書類における氏名がローマ字と漢字で併記されている場合には、ローマ字表記と漢字表記のいずれかの希望する一方を記入すること。

なお、中長期在留者又は特別永住者で、住民票に記載されている通称名

の使用を希望する者は、氏名欄に括弧書き（　）で住民票に記載されている通称名を併記すること。ただし、修業（卒業）見込証明書若しくは修業（卒業）証明書に通称名が記載されていない場合又は住民票に通称名が登録されていない場合には通称名の使用は認めない。

婚姻等により、各証明書に記載された氏名と提出時の氏名が相違する場合には、氏名の変更が確認できる書面（出願前６か月以内に発行された戸籍抄本等（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成 25 年法律第 27 号）第２条第５項に規定する「個人番号」が記載されていないものに限る。））を併せて提出すること。

⑥　生年月日は年号を付してアラビア数字で記入すること。（**日本国籍を有しない者は西暦で記入すること。**）

なお、平成「元年」は「１年」と記入すること。

⑦　学歴は学科（専攻課程、コース等）名まで記入すること。（留年・休学の期間、予備校等は記入を要しない。）

なお、令和「元年」は「１年」と記入すること。（⑧において同じ。）

⑧　職歴はなければ「なし」と記入すること。（アルバイトの記載は不要。）

記載済み

~~⑨　申請日付は受験願書を提出する日を記入すること。（養成所等で一括提出する場合など提出日が明らかでない場合は、作成日を記載しても差し支えない。）~~

~~⑩　厚生労働大臣の氏名の記入は必要ないこと。~~

⑪　受験願書に不備があった場合等、診療放射線技師国家試験運営本部事務所又は診療放射線技師国家試験運営臨時事務所から出願者に連絡を取る必要が生じる場合があるので、住所欄に記載した電話番号以外に常時出願者本人に連絡が取れる電話番号（携帯電話等も可）を右下の余白部分に必ず記入すること。

なお、呼び出しの場合は○○方、○○寮、○○会社等を明記すること。

記入例　※楷書で丁寧に記入すること。

※修正は二重線で行う。（修正液不可。訂正印不要。）

①11,400円分の収入印紙を貼る。消印はしないこと。
印紙は２枚以上になってよい。
複数枚を貼る場合、重ねずに並べて貼ること。

診 療 放 射 線 技 師 国 家 試 験 願 書

収入
印紙

②受験地　福岡県　　↓**都道府県名のみ記入**　　収入証紙ではないので注意！

都道府県名から記入、
↓住民票と異なる住所でOK

本籍（国籍）	③　○　○　県	
住　　所	④　○○県○○市○○町△丁目△△番△△△号 ×××マンション　□□号室 戸籍に記載された文字を楷書で丁寧に　↓常時連絡が取れる電話番号 ↓卒業時の学位記の字体に使用　⑫電話　090－2222－▲▲▲▲	
ふりがな 氏　　名	⑤きゅうだい　たろう※ひらがなで 九　大　太　郎	⑥↓昭和または平成を記入 平成　1年　7月２３日生
学　　歴 （高等学校又は中等教育学校卒業から記入してください。）	⑦　漢数字は×、日本国籍を有しない者は西暦で記入 平成○○年３月　○○県立××高等学校　卒業 平成○○年４月　九州大学医学部保健学科 放射線技術科学専攻　入学 令和　６年３月　同　上　卒業見込 ＊予備校等は記入しないこと。 ※中高一貫校の場合は「○○中等教育学校後期課程修了」と記載。 転校した場合は、転入学と記載。 大学などで、専攻科目の変更や転部をした場合は、編入学と記載。	
職　　歴	⑧　な　し　←アルバイトは記入しない。 （ある場合は） 平成○○年○○月　○○病院就職 平成○○年○○月　同上　退職 現在に至る	

上記により，診療放射線技師国家試験を受験したいので申請します。

⑨令和５年１２月１４日

⑤　きゅうだい　たろう※ひらがなで
氏名　九　大　太　郎

⑩厚生労働大臣　殿

別紙２

受験写真用台紙作成時の記載要領

(1) 第 76回　診療放射線技師国家試験受験写真用台紙

本籍地（都道府県名のみ記入すること。）	※コード	受験地	※受　験　番　号
(2) ○○ 都 道 府 (県)		(3) ○○県	

合格発表時の住所（合格証書・成績通知送付先）【都道府県の該当文字を○で囲む。】

(4) 〒○○○－○○○○　都道府(県)○○○　○○市○○町○丁目○番地

○○マンション○○号室　（　　様方）

(5) フリガナ	コウセイ	タロウ	性　別	
(6) 氏　名	氏 厚　生	名 太　郎	性別 (男)	女
(7) 生年月日	大正 昭和 (平成) ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日			
(8) 卒業学校・養成所名	○○○○学院			
(9) 卒業学校番号	○ ○ ○	卒業年月 (10)	昭和 平成 (令和) ○年 ○月 (卒) 卒見込	

◎４枚１組で切離さずに提出すること。

(11) 写真貼付欄
（枠内に貼付のこと）
出願前６か月以内に脱帽して正面から撮影した縦６cm、横４cmのもので、その裏面には撮影年月日及び氏名を明記し、(12) 定の枠内に貼付すること。
（ｽﾅｯﾌﾟ写真は不可）

刻印

(13) 令和○年○月○日撮影

本人確認のため運転免許証、パスポート等の本人確認が出来る書類の提示を求める場合があります。

(14) この写真は、受験者本人に相違ないことを証明する。
令和　　年　　月　　日
学校・養成所長

(5)(6)
氏名は原則戸籍に記載されている文字を用い記入すること。フリガナも記入すること。
外国籍の者で、通称名を希望する者は、本名と通称名を併記せず、通称名のみを記入すること。

(2)(4)(7)(10) 性別欄
都道府県を○で囲む。
年号を○で囲む。
卒・卒見込を○で囲む。
性別を○で囲むこと。
※性別は戸籍に掲載されている性別を○で囲むこと。

(7)(10)
年月日を記入する際、「元年」は「１年」と記入すること。

(11)
写真は規定サイズで顔がはっきり写っているものを使用すること。背景は無背景。
カラー、白黒は問わない。

(12)(14)
大学で、写真が受験者本人に相違ないことの確認を受けること。
※証明欄の記載と写真の刻印が必要となります。

大学で証明が受けられない場合は、写真付き身分証明書等を国家試験運営本部事務所または臨時事務所へ持参または郵送して、本人確認を受けること。
※詳細は記載要領を確認すること。

Check!
用紙は４枚複写となっています。
４枚目まで写っているかを確認し、はっきり強く記入すること。

Check!
訂正が必要な場合、修正テープや修正液は使用せず、訂正箇所に二重線を引き、訂正すること。
訂正印は不要。

受験写真用台紙については、※欄（コード欄及び受験番号欄）以外の欄を、黒又は青のボールペンを用い楷書ではっきり強く記入すること。４枚複写となっているので、記入後は４枚目（受験票）まで文字が読みとれるように写っているか確認すること。訂正が必要な場合は、訂正箇所に二重線をして訂正すること。この場合の訂正印は不要である。

① **試験回数は、「76」と記入すること。**

② 「**本籍地**」欄は、戸籍に記載される**都道府県名**を記入し、不動文字（都道府県）は該当するものを○で囲むこと。

なお、日本国籍を有しない者で、短期在留者については、旅券その他の身分を証する書類（当該国の公的機関が発行した申請者の身分を証明できる書類で、登録事項が記載されているもの。具体的には当該国における日本の戸籍、住民票、健康保険証、運転免許証等に相当する書類、その他の当該国の証明書等。以下同じ。）に記載されている国籍を、中長期在留者については在留カード又は住民票に記載されている国籍を、特別永住者については特別永住者証明書又は住民票に記載されている国籍を記入すること。ただし、「**台湾**」については出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）第２条第５号ロに定める“地域”であることから、「**中国**」と記入すること。　受験地は「福岡県」と記入

③ **「受験地」欄**は、希望する受験地の都道府県名を記入すること。受験地は、**北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県**のいずれかから選択すること。

④ 「**合格発表時の住所**」欄は、**合格証書・成績通知書（以下「合格証書等」という。）**の送付先の住所となるので、合格発表時の住所を番地、マンション等の号室まで詳細に記入し、不動文字（都道府県）は該当するものを○で囲むこと。送付先の住所の居住者が受験者と異なる場合は、当該住所の世帯主の氏名をフルネームで記入すること。また、郵便番号は必ず記入すること。

なお、**記入した住所の変更は認めない**ので転居等が予想される場合は、合格証書等が確実に配達される住所を詳細に記入すること。（現住所及び受験願書の住所と異なる場合も可。ただし、**長期間居住していない住所や本人が居住しない実家の住所を指定した場合には配達されないことがあるため、事前に管轄郵便局へ確認すること。**）

※毎年、住所が不明で合格証書等が返戻されるケースが多いので、やむなく記入した住所以外に転居を行った場合は、合格証書等が確実に送付されるよう管轄の郵便局へ住居変更・転居届を提出すること。

⑤ **「フリガナ」欄は、氏と名に分けそれぞれカタカナで記入すること。（氏名がひらがなやカタカナの場合でも記入すること。）**

⑥ 「**氏名**」欄は、受験願書と同じ文字を使用し、氏と名に分け左詰めに記入すること。

婚姻等により、各証明書に記載された氏名と提出時の氏名が相違する場合には、氏名の変更が確認できる書面（出願前６か月以内に発行された戸籍抄本等（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第２条第５項に規定する「個人番号」が記載されていないものに限る。））を併せて提出すること。

日本の国籍を有しない者で、合格証書等に住民票に記載されている通称名の使用を希望する者は通称名のみ氏名欄に記入すること。（この場合、本名の記入は要さない。）ただし、修業（卒業）見込証明書若しくは修業（卒業）証明書に通称名が記載されていない場合又は住民票に通称名が登録されていない場合には通称名の使用は認めない。

⑦ 「生年月日」欄は、該当する年号を〇で囲み、アラビア数字で記入すること。日本国籍を有しない者は西暦で記入すること。この場合「年号」を二本線等で抹消する必要はないこと。

なお、平成「元年」は「１年」と記入すること。

記入例参照
「２６」と記入

⑧、⑨ 「卒業学校・養成所名」欄及び「卒業学校番号」欄は、別紙３の卒業学校番号一覧表を参照し、該当する学校名・学科名及び学校番号を記入すること。なお、受験資格認定者については、「卒業学校・養成所名」欄に、「認定」と記入すること。

⑩ 「卒業年月」欄は、該当する年月を記入すること。不動文字（年号、卒等）は該当するものを〇で囲むこと。

受験資格認定者については、認定年月を記入すること。この場合、「卒、卒見込」を二本線等で抹消する必要はないこと。

なお、令和「元年」は、「１年」と記入すること。

⑪ 写真は出願前６か月以内に脱帽・正面・無背景で撮影した縦６cm、横４cmのものを使用し、裏面に撮影年月日及び氏名を記載してから、所定の位置に貼付すること。写真は変色することのないものを使用すること。（カラー・白黒は問わない。スナップ写真は不可。）

不要

~~⑫ 貼り付けた写真には、学校（養成所）の刻印又は学校（養成所）長の公印により割印すること。このとき、割印については受験写真用台紙にも刻みが入るように刻印すること。学校（養成所）で刻印・公印が受けられない場合は、写真が付してある身分証明書等（運転免許証、旅券その他の公的機関の発行した身分証明書。コピー不可）を受験願書等提出時に診療放射線技師国家試験運営臨時事務所へ持参又は診療放射線技師国家試験運営本部事務所へ郵送して本人確認を受けること。~~

~~郵送により本人確認を受ける場合は、写真が付してある身分証明書等（コピー不可。）及び返信用の封筒（郵便番号、宛先及び宛名を記載し、身分証明書等の返送に必要な郵便切手を貼り付け、書留の表示をしたもの）を同封すること。~~

~~なお、個人番号カードについては、郵送不可とする。~~

⑬　撮影年月日を記入すること。(受験願書等を受理する段階で６か月を越えているものは不可。)

不要

⑭　学校（養成所）で、受験用写真が受験者本人に相違ないことの証明を受けること。学校（養成所）で証明が受けられない場合は、写真が付してある身分証明書等（運転免許証、旅券その他の公的機関の発行した身分証明書。コピー不可）を受験願書等提出時に診療放射線技師国家試験運営臨時事務所へ持参又は診療放射線技師国家試験運営本部事務所へ郵送して本人確認を受けること。

郵送により本人確認を受ける場合は、写真が付してある身分証明書等（コピー不可。）及び返信用の封筒（郵便番号、宛先及び宛名を記載し、身分証明書等の返送に必要な郵便切手を貼り付け、書留の表示をしたもの）を同封すること。

なお、個人番号カードについては、郵送不可とする。

受験写真用台紙　記載要領

※　4枚目まで写るように強く記入すること！4枚目を受験票として使用します！

記　入　例

①第　７６　回　診療放射線技師国家試験受験写真用台紙

本籍地（都道府県名のみ記入すること）	※コード	③受　験　地	※受験番号
②　●　●　都道府県		福岡県	

合格発表時の住所　（合格証書送付先）　【都道府県市区郡の該当文字を〇で囲む。】

④〒●●●－●●●●　福岡　都道府県　福岡市

東区 馬出　〇丁目△△－□□　◇◇◇マンション×××号

（同居先※世帯主の苗字と受取人の苗字が異なる際に記入　様方）

フリガナ⑤	キュウダイ※カタカナ	タロウ※カタカナ	性別
氏名⑥	氏 九大	名 太郎	男　女
生年月日⑦	大正　昭和　平成　●　年　●　月　●　日		
卒業学校・養成所名⑧	九州大学医学部保健学科放射線技術科学専攻		
卒業学校番号⑨	2　6	卒業年月 ⑩平成 令和　6年　3月	卒　卒見込

楷書で丁寧に！卒業時の学位記氏名の字体に使用します！
氏名は原則戸籍に記載されている文字を用い記入すること

写真貼付欄

（枠内に貼付のこと）

大きさが違う場合は貼り付けないこと！

出願前6か月以内に脱帽して正面から撮影した縦 6cm、横 4cmのもので、**その裏面には撮影年月日及び氏名を明記**し、所定の枠内に貼付すること。

（スナップ写真は不可）
背景は無背景
カラー、白黒は問わない

液体のりは使用しないこと！

刻印

⑬令和５年 ●● 月 ●● 日撮影

住民票の住所でなくても可！3月に結果が届いても問題のない住所を記載！

◎４枚１組で切り離さずに提出すること。　**修正は二重線により行う。修正液不可。訂正印不要。**

この写真は、受験者本人に相違

令和　年　月　日
学校・養成所長　印

都道府県を〇で囲む。
年号を〇で囲む。
卒・卒見込を〇で囲むこと。
性別を〇で囲むこと。

平成元年は、平成1年と記入
日本国籍を有しない者は西暦で記入

資格・試験情報

医療、医薬品、健康、食品衛生関連　技術、安全衛生関連　美容、健康関連

福祉・介護関連

医療、医薬品、健康、食品衛生関連

大雪・災害等による国家試験の日時の変更等情報について
災害等による国家試験予備試験の日時の変更等情報について
令和４年度厚生労働省所管医療関係職種国家試験に係る新型コロナウイルス感染症対策について
令和４年度厚生労働省所管医療関係職種国家試験における受験手数料の返還について

試験名	試験日	合格発表日	問い合わせ先	電話番号	所管部局
医師国家試験	令和6年2月3日～4日	令和6年3月15日	医政局医事課試験免許室 ※免許申請手続はこちらへ ※受験者留意事項はこちらへ	03-3595-2204	医政局
医師国家試験予備試験	令和5年６月13日、令和5年９月21日、令和5年11月7日又は8日	令和5年７月24日、令和5年10月17日、令和5年11月27日			
歯科医師国家試験	令和6年1月27日～28日	令和6年3月15日			
歯科医師国家試験予備試験	令和5年6月23日、令和5年9月14日、令和5年12月11日～12日	令和5年7月25日、令和5年10月16日、令和5年12月22日			
保健師国家試験	令和６年2月９日	令和６年3月22日			
助産師国家試験	令和６年2月８日	令和６年3月22日			
看護師国家試験	令和６年2月11日	令和６年3月22日			
診療放射線技師国家試験	令和６年2月15日	令和6年3月21日			
臨床検査技師国家試験	令和6年2月14日	令和6年3月21日			